



# 2014年度第2四半期決算説明資料

2014年10月31日

## I. 2014年度第2四半期決算実績

---

・サマリー	3
・セグメント別内訳	4
・貸借対照表・主要財務指標・キャッシュ・フロー	5
・受注高・受注残高	6
・売上高	8
・営業利益	9

## II. 2014年度業績見通し

---

・サマリー	11
・セグメント別内訳	12

## III. 補足資料

---

補足資料	14-19
------	-------

# I . 2014年度第2四半期決算実績

# 第2四半期決算実績 サマリー

(単位:億円)

	'13-2Q累計	'14-2Q累計	増減
受注高	15,655	17,641	+1,986
売上高	15,055	17,591	+2,535
営業利益	(5.0%) 754	(6.7%) 1,182	+427
経常利益	(4.0%) 598	(7.3%) 1,279	+681
特別損益	△ 6	△ 398	△ 391
純利益	(2.2%) 328	(2.2%) 380	+52

## ➤ 受注高

交通・輸送を中心に、機械・設備システム、エネルギー・環境で増加

## ➤ 売上高

M&Aの効果に加えて、在外グループ会社の決算期変更の影響などもあり  
エネルギー・環境、機械・設備システムを中心に増収

## ➤ 利益

営業利益：機械・設備システム、エネルギー・環境を中心に増益

純利益：客船事業関連損失(△398億円)を特別損失に計上したが増益

# 第2四半期決算実績 セグメント別内訳

(単位:億円)

	受注高			売上高			営業損益		
	'13-2Q 累計	'14-2Q 累計	増減	'13-2Q 累計	'14-2Q 累計	増減	'13-2Q 累計	'14-2Q 累計	増減
エネルギー・環境	5,743	6,507	+764	5,546	6,831	+1,284	404	618	+214
交通・輸送	2,054	3,793	+1,739	2,293	2,425	+131	120	54	△ 66
防衛・宇宙	2,058	656	△ 1,402	1,787	1,746	△ 40	83	81	△ 1
機械・設備システム	5,435	6,374	+939	5,115	6,337	+1,222	182	423	+241
その他	925	955	+30	799	708	△ 90	52	46	△ 6
消去または共通	△ 562	△ 646	△ 84	△ 485	△ 458	+27	△ 89	△ 42	+46
合計	15,655	17,641	+1,986	15,055	17,591	+2,535	754	1,182	+427

## 貸借対照表

(単位:億円)

	'13年度末	'14-2Q末	増減
売上債権	11,889	10,586	△1,302
たな卸資産	11,509	12,953	+1,444
その他流動資産	8,410	8,144	△266
固定資産	11,015	11,312	+296
投資等	6,035	6,711	+675
<b>資産合計</b>	<b>48,860</b>	<b>49,708</b>	<b>+847</b>
買入債務	8,014	7,197	△816
前受金	5,674	6,119	+444
その他	7,854	7,542	△311
有利子負債	9,574	9,731	+156
純資産	17,742	19,117	+1,374
(うち自己資本)	(15,433)	(16,310)	(+876)
<b>負債・純資産合計</b>	<b>48,860</b>	<b>49,708</b>	<b>+847</b>

## 資産

-売上債権は、入金条件の改善や債権流動化の一層の加速等で債権回収を早期化  
 -たな卸資産は、事業規模拡大の影響等で増加傾向にあるが、資産圧縮の活動を継続

## 負債・純資産

-純資産は、少数株主持分を含めた利益の積み上がりなどにより増加

## 主要財務指標

	'13年度	'14-2Q	増減
自己資本比率	31.6%	32.8%	+1.2pt
有利子負債残高 (単位:億円)	9,574	9,731	+156
D/Eレシオ	0.54	0.51	△0.03

## キャッシュ・フロー

(単位:億円)

	'13-2Q 累計	'14-2Q 累計	増減
営業	739	59	△ 680
投資	△ 1,063	△ 1,004	+58
フリー C/F	△ 323	△ 945	△ 621

運転資金削減などの更なる資本効率と、収益力の向上により、キャッシュ・フローの改善を進める

(単位:億円)

	'13-2Q累計	'14-2Q累計	増減
受注高	15,655	17,641	+1,986

	'13年度末	'14-2Q末	増減
受注残高(※)	53,738	53,876	+137

※ ターボチャージャ、空調機等の量産品は含まない

## ➤ 市場動向

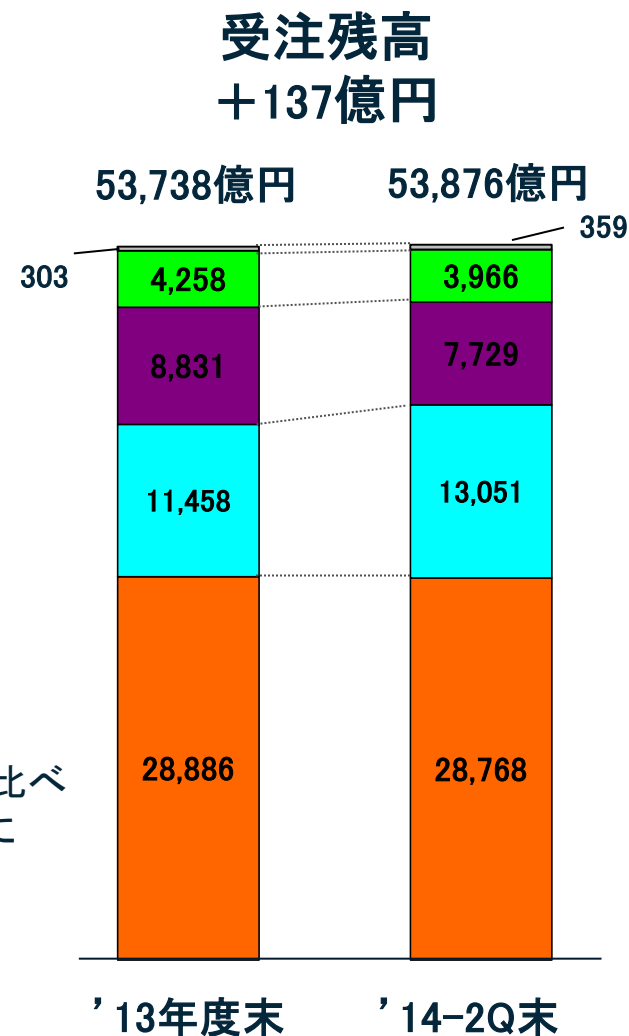
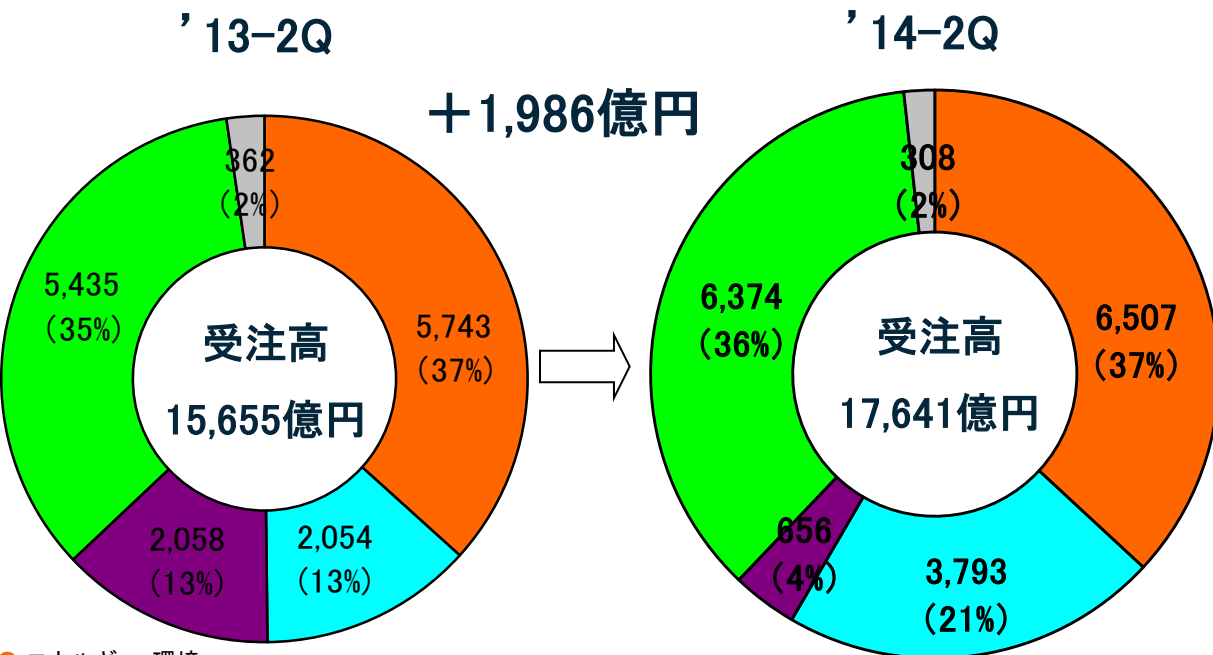
アジア: 中国は低調な状態が継続したが、総じて安定した成長となった

欧 米: 米国は緩やかな景気回復、欧州は全体として持ち直し

国 内: 消費税率引上げによる駆け込み需要の反動は和らぎつつも、  
設備投資や企業収益の改善には足踏みが見られ、緩やかな回復基調となった

## ➤ 当社グループの受注施策

火力事業を中心にM&Aの効果が現れはじめており、事業規模5兆円達成に向けてグローバルな受注活動を更に加速する



- **エネルギー・環境**  
火力事業の統合効果により火力発電プラント等を中心に増加
- **交通・輸送**  
MRJ等の受注により増加

- **防衛・宇宙**  
大型受注があった前年同期に比べ減少しているが、当年度計画に対しては堅調に推移
- **機械・設備システム**  
フォークリフト(事業統合効果)、ターボチャージャ(欧州、中国)、空調機(中国、欧州)等が増加

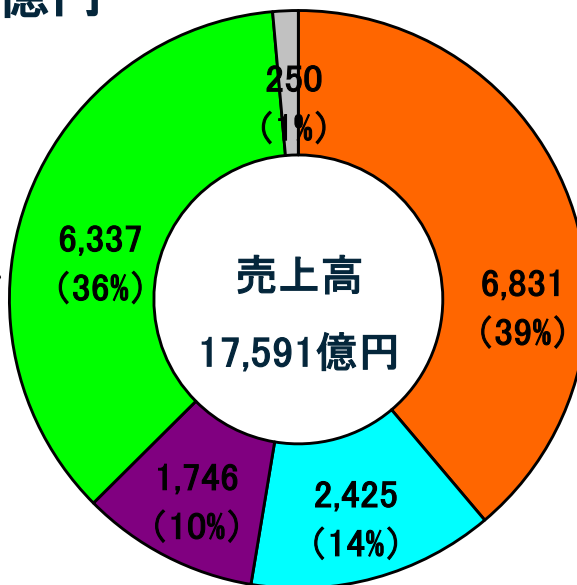
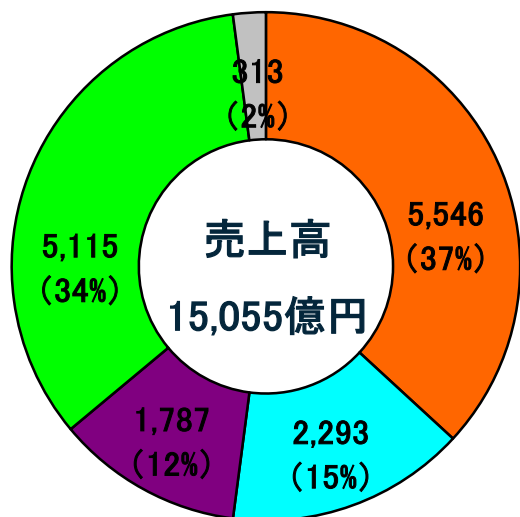
※ ターボチャージャ、空調機等の量産品は含まない



'13-2Q

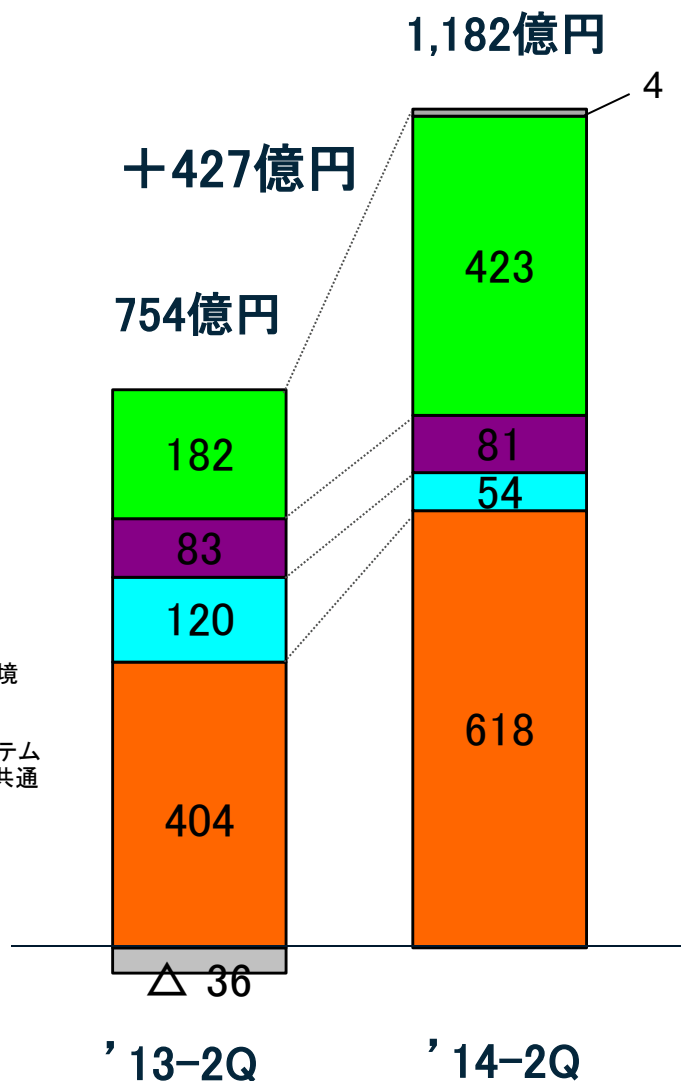
'14-2Q

+2,535億円



- **エネルギー・環境**  
火力事業の統合効果により大きく増収
- **交通・輸送**  
民間航空機、交通システムを中心に増収
- **防衛・宇宙**  
概ね計画通りに進捗
- **機械・設備システム**  
フォークリフト(事業統合効果)、ターボチャージャ(欧州、中国)、空調機(中国、欧州)等が大きく増収

- エネルギー・環境
- 交通・輸送
- 防衛・宇宙
- 機械・設備システム
- その他、消去・共通



➤ **エネルギー・環境**

火力事業の統合効果による売上増に加え、火力新設プラントの採算改善、アフターサービスの伸長により増益

➤ **交通・輸送**

商船の採算悪化やMRJの研究開発費増加等により減益

➤ **防衛・宇宙**

前年同期並みに進捗

➤ **機械・設備システム**

ターボチャージャ、空調機、フォークリフト等の売上増に加え、コンプレッサの採算改善等により増益

- エネルギー・環境
- 交通・輸送
- 防衛・宇宙
- 機械・設備システム
- その他、消去・共通

## Ⅱ. 2014年度業績見通し

---

本資料に記載している業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したもので、リスクや不確実性を含んでおり、また、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。従いまして、この業績見通しのみを依拠して投資判断を下すことはお控え下さいますようお願いいたします。実際の業績は、様々な重要な要素により、この業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。実際の業績に影響を与える要素には、当社グループの事業領域をとりまく経済情勢、対ドルをはじめとする円の為替レート、日本の株式相場などが含まれます。

(単位: 億円)

	'13年度 実績	'14年度			12事計
		今回見通し	14.7.31見通し	'13年度からの増減	
受注高	34,200	43,000	41,500	+8,799 +25.7%	40,000
売上高	33,495	40,000	40,000	+6,504 +19.4%	37,000
営業利益	2,061	2,600	2,500	+538 +26.1%	2,500
経常利益	1,831	2,300	2,300	+468 +25.6%	2,100
純利益	1,604	1,000	1,300	△ 604 △37.7%	1,300

➤ 前回公表値より、受注高 +1,500億円、営業利益 +100億円、純利益 △300億円

➤ 受注高・売上高

近年のM&Aを原動力に約20%の成長を見込み、将来の事業規模5兆円に向けて順調に進捗中

➤ 営業利益・経常利益

12事計目標値を達成の見込み

➤ 純利益

客船事業関連損失(特別損失)計上などにより下方修正

【前提為替レート】

1ドル=105円(前回見通し: 100円)

1ユーロ=135円(前回見通し: 130円)

【未確定外貨】

21億ドル(期首: 41億ドル)

4億ユーロ(期首: 4億ユーロ)

# 2014年度業績見通し セグメント別内訳

(単位: 億円)

	受注高			売上高			営業損益		
	'13年度 実績	'14年度		'13年度 実績	'14年度		'13年度 実績	'14年度	
		今回 見通し	14.7.31 見通し		今回 見通し	14.7.31 見通し		今回 見通し	14.7.31 見通し
エネルギー・環境	13,392	18,500	18,500	12,539	17,000	17,000	1,123	1,450	1,350
交通・輸送	3,603	7,500	6,000	4,636	5,000	5,000	183	200	300
防衛・宇宙	5,473	3,500	3,500	4,694	4,500	4,500	276	270	270
機械・設備システム	11,065	12,500	12,500	10,963	12,500	12,500	516	780	680
その他	1,835	2,000	2,000	1,850	2,000	2,000	146	100	130
消去または共通	△ 1,169	△ 1,000	△ 1,000	△ 1,189	△ 1,000	△ 1,000	△ 184	△ 200	△ 230
合計	34,200	43,000	41,500	33,495	40,000	40,000	2,061	2,600	2,500

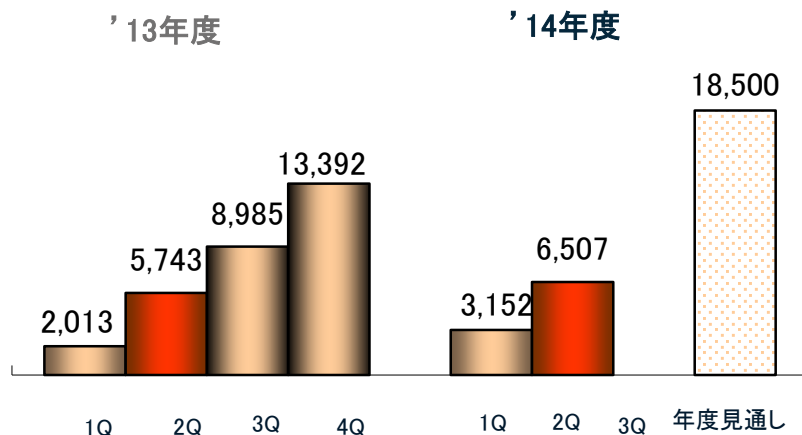
# Ⅲ. 補足資料

---

# 補足資料① 第2四半期決算実績 <エネルギー・環境>

(億円・各期の数値は累計)

受注



## 受注 : 対前年同期 +764億円の増加

(株)日立製作所との火力事業の統合効果もあり、火力発電プラントの受注が増加したことにより、前年同期を上回った。

### 【大型ガスタービン受注台数】

'13-2Q累計 : 13台 (北米1台、アジア8台、国内2台、その他2台)

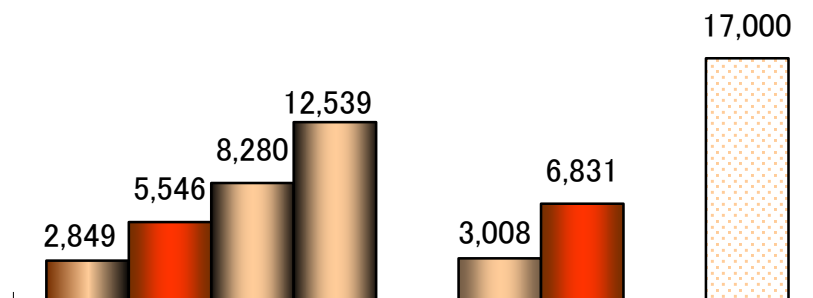
'14-2Q累計 : 2台 (アジア1台、国内1台)

### 【大型ガスタービン契約残台数】

'13-2Q末 : 45台 ('13年度末 42台)

'14-2Q末 : 37台

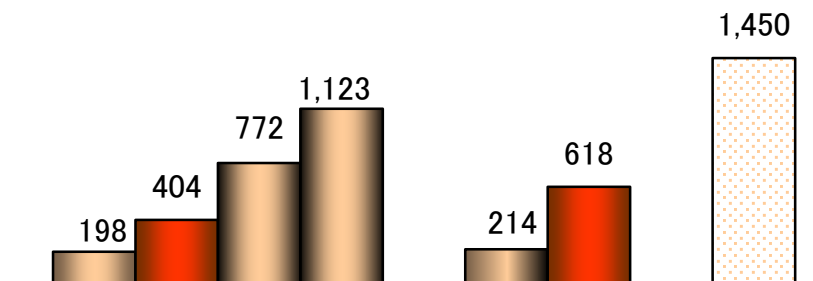
売上



## 売上 : 対前年同期 +1,284億円の増収

火力事業の統合効果により、前年同期を大きく上回った。

営業損益



## 損益 : 対前年同期 +214億円の増益

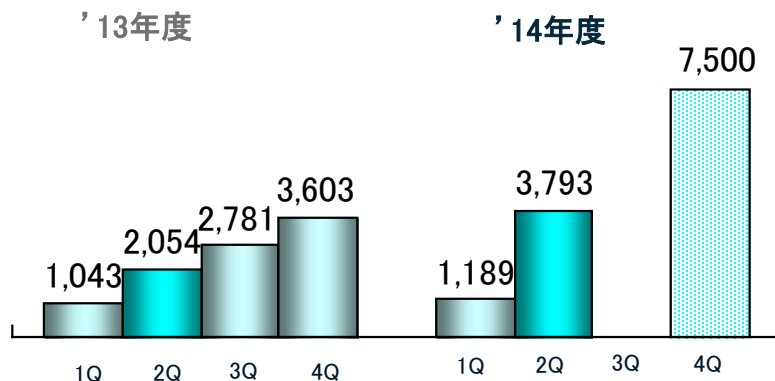
火力事業の統合効果による大幅な売上増加に加え、火力発電プラント新設工事の採算改善、アフターサービスの伸長等により、前年同期を上回った。

## 年間見通し

営業利益 : 1,350億円から1,450億円へ修正

(億円・各期の数値は累計)

受注



## 受注 : 対前年同期 +1,739億円の増加

MRJや交通システム等の大型商談を受注したことにより、前年同期を上回った。

### 【商船 受注隻数】

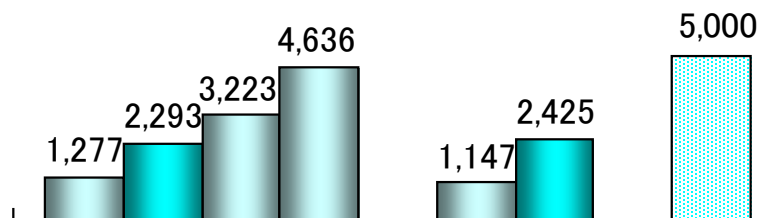
'13-2Q累計 : 3隻 (1Q:1隻、2Q:2隻、3Q:1隻、4Q:4隻)

'14-2Q累計 : 6隻 (1Q:3隻、2Q:3隻)

### 【商船 契約残隻数】 43隻

(LNG船 8隻、LPG船 6隻、フェリー/貨客船 6隻、巡視船 8隻 他)

売上



## 売上 : 対前年同期 +131億円の増収

民間航空機、交通システムを中心に増加し、前年同期を上回った。

### 【B777 引渡機数】

'13-2Q累計 : 50機 (1Q:25機、2Q:25機、3Q:25機、4Q:24機)

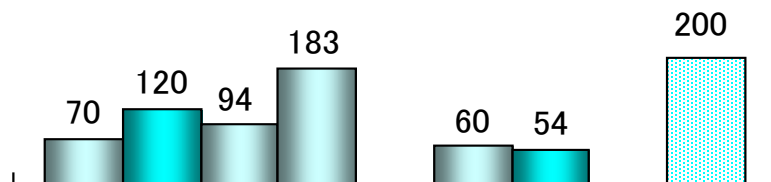
'14-2Q累計 : 50機 (1Q:26機、2Q:24機)

### 【B787 引渡機数】

'13-2Q累計 : 30機 (1Q:16機、2Q:14機、3Q:19機、4Q:29機)

'14-2Q累計 : 60機 (1Q:32機、2Q:28機)

営業損益



## 損益 : 対前年同期 △66億円の減益

商船の採算悪化やMRJの研究開発費増加等に伴い前年同期を下回った。

## 年間見通し

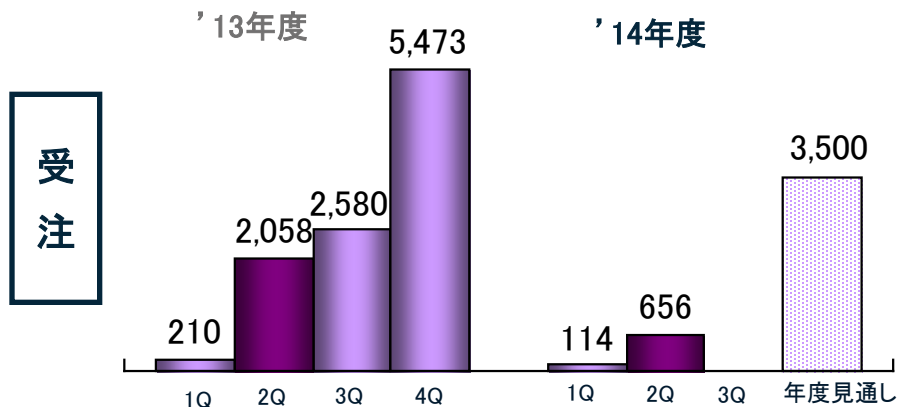
受注高 : 6,000億円から7,500億円へ修正

営業利益 : 300億円から200億円へ修正



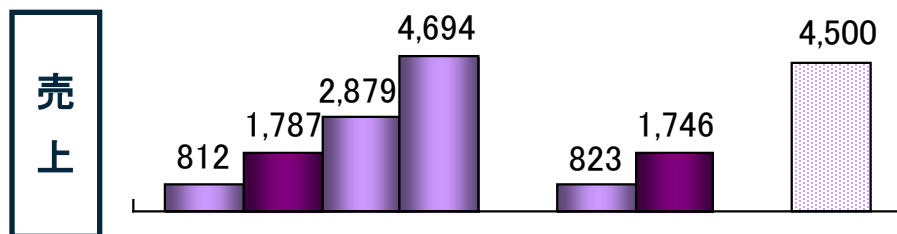
# 補足資料① 第2四半期決算実績 <防衛・宇宙>

(億円・各期の数値は累計)



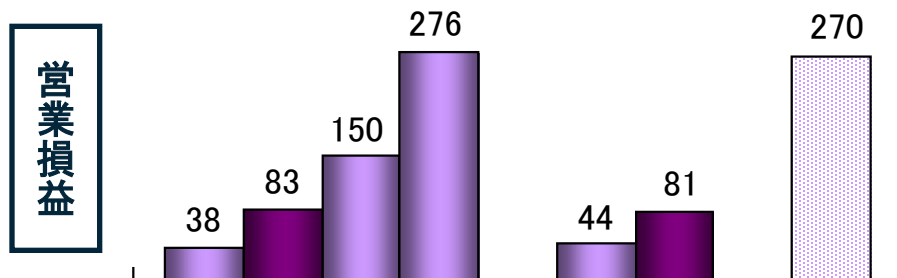
**受注 : 対前年同期  $\Delta 1,402$ 億円の減少**

前年同期に大型受注のあった防衛航空機、艦艇等が減少したことにより、前年同期を下回った。



**売上 : 対前年同期  $\Delta 40$ 億円の減収**

防衛航空機が増加したものの、艦艇等の減少により、前年同期をやや下回った。



**損益 : 対前年同期  $\Delta 1$ 億円の減益**

ほぼ前年同期並みとなった。

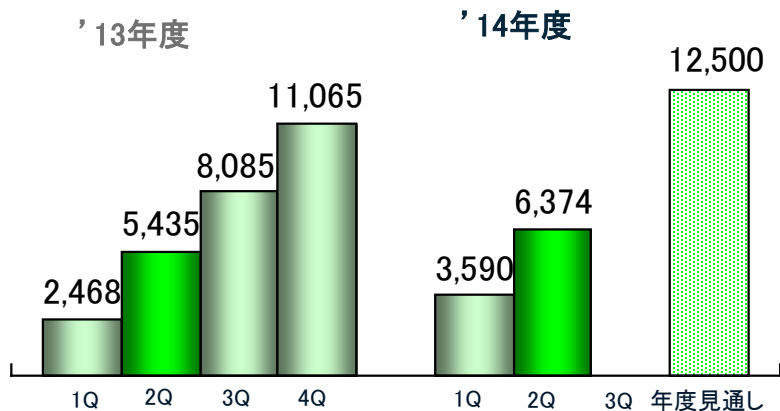
**年間見通し**

変更なし

# 補足資料① 第2四半期決算実績 <機械・設備システム>

(億円・各期の数値は累計)

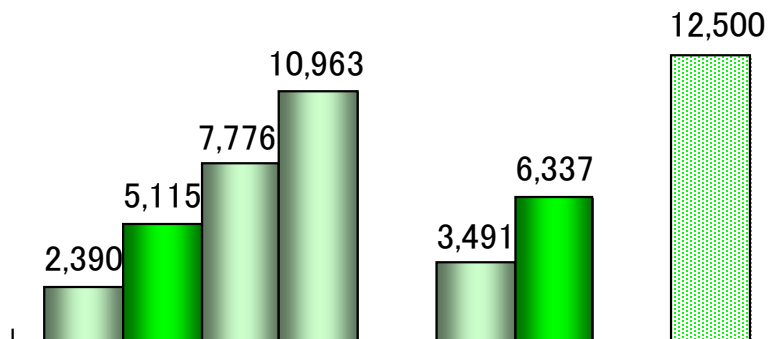
受注



**受注** : 対前年同期 +939億円の増加  
**売上** : 対前年同期 +1,222億円の増収

フォークリフトが事業統合効果により増加したほか、ターボチャージャ、空調機が欧州・中国向けで増加した。また、在外グループ会社の決算期変更影響などもあり、前年同期を上回った。

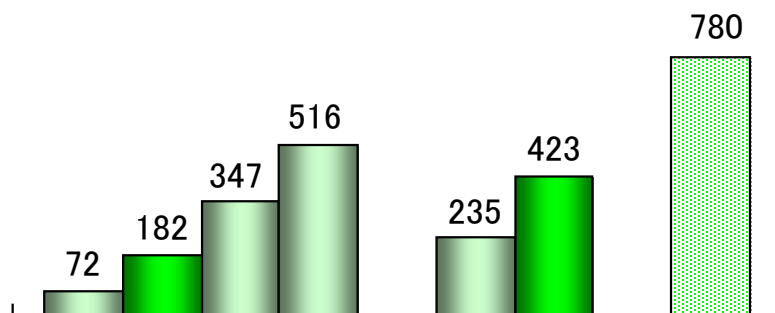
売上



**損益** : 対前年同期 +241億円の増益

ターボチャージャ、空調機、フォークリフト等の売上増に加え、コンプレッサの採算改善等により、前年同期を上回った。

営業損益



**年間見通し**

営業利益 : 680億円から780億円へ修正

## 1. 研究開発費、減価償却費、設備投資

	'13-2Q 累計	'14-2Q 累計	(単位:億円) '14年度 見通し
研究開発費	514	573	1,500
減価償却費	602	753	1,500
設備投資	617	754	1,500

## 2. 販売費及び一般管理費

	'13-2Q累計	'14-2Q累計
販管費	2,029	2,533

(単位:億円)

## 3. 為替レート

	'13-2Q累計	'14-2Q累計
USドル(円/USドル)	98.8	102.5
ユーロ(円/ユーロ)	128.3	137.3

## 4. 海外地域別売上高

	'13-2Q累計		'14-2Q累計	
アジア	2,808	(18%)	3,394	(20%)
北米	2,715	(18%)	3,084	(18%)
欧州	1,479	(10%)	1,784	(10%)
中南米	414	(3%)	520	(3%)
中東	184	(1%)	603	(3%)
アフリカ	244	(2%)	430	(2%)
大洋州	110	(1%)	207	(1%)
合計	7,957	(53%)	10,025	(57%)

(単位:億円)

## 5. 所在地別セグメント情報

(単位:億円)

		'13-2Q累計	'14-2Q累計
日本	売上高	12,810	13,685
	営業損益	671	957
北米	売上高	1,784	2,015
	営業損益	34	12
アジア	売上高	1,024	2,077
	営業損益	49	169
欧州	売上高	708	1,643
	営業損益	0	37
その他	売上高	118	213
	営業損益	△ 1	6
消去または共通	売上高	△ 1,389	△ 2,045
	営業損益	-	-
合計	売上高	15,055	17,591
	営業損益	754	1,182



# 三菱重工

この星に、たしかな未来を